

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010070

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道防雪柵設置事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	防雪柵設置・撤去延長		#N/A	
事業目標	3,327m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	○防雪柵の設置・撤去総延長 L=3,327m ・北幌内7号線外5路線の吹溜式防雪柵の設置撤去延長 L=2,984m ・音稲府6号線外4路線の吹払式(固定式)防雪柵の草地出入口部の設置撤去延長 L=343m	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	
	事業費(千円)	10,600	1,800	2,000	2,100	2,300	2,400
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	10,600	1,800	2,000	2,100	2,300	2,400	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	10,255	1,741	1,900	2,040	2,251	2,323
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	10,255	1,741	1,900	2,040	2,251	2,323	
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	665.4m	665.4m	665.4m	665.4m	665.4m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	95%	97%	98%	97%
	全体達成率	16%	34%	54%	75%	97%	
	備考欄						

事業名	町道防雪柵設置事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	防雪柵設置撤去延長	
【抱える課題やニーズは】	視界不良や吹溜りによる交通障害	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	吹雪時における視程確保並びに吹溜りの解消	① 防雪柵設置撤去延長/防雪柵設置撤去延長	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	冬期間の安全な通行の確保		目標値	665.4 m
			実績値	665.4 m
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①設置は民間業者による工事の実施	防雪柵の実施は、入札により民間業者に工事発注し実施した。		
	②撤去費は直営で実施	防雪柵の撤去は、直営により機械をリースし、派遣運転手、添乗員及び民間業者の作業員により実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	吹雪時における視界不良や吹溜りが発生しやすい路線に防雪柵を設置し、安全な通行の確保と除雪作業の効率化のためには、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		当該事業を実施したことにより、安全な通行の確保と除雪作業の効率化が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		防雪柵の設置により吹溜りの解消が図られ、除雪費用が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		吹雪時における視界不良や吹溜りが発生しやすい路線に防雪柵を設置し、安全な通行の確保できたことは、不特定多数の道路利用者に対し、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り防雪柵を設置し、安全な通行が図れたことは、今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
除雪路線の安全な通行確保と除雪作業の効率化のために、吹溜りが発生しやすい路線における防雪柵の設置は必要であり、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止